

同窓会関東支部主催

第一回「鎌倉散策」

一〇月二六日(水)

(参加者男性一三名女性七名)

田所和子(17回)

新同好会発足!

ゴルフ同好会以外にも「気心の知れた同窓の仲間が集まる機会がもつとほしいね」という会員の声に応えて新しい同好会活動「歴史散策の会」を発足し、第一回の散策の会を鎌倉で行いました。



担当は山本副会長と私で昨年からの準備を重ねました。最初の散策は私の地元近くの「鎌倉」と決めました。「NPO鎌倉ガイド協会」の協力を願い、下見をして具体的なコースを決めました。

六月の総会で同好会の発足のお知らせと同好会参加のよびかけを行いました。九月にさらに詳しい計画を立て参加申し込みを行なったところ二〇名になりました。

実施日の一〇月二六日は担当の私をはじめ参加者の精進が良かったので、抜けるような秋晴れに恵まれました。午前一時鎌倉駅前に集合で

す。村高ののぼり旗のもとに、参加予定者全員が一人の遅刻者もなく全員集合しました。

コースは 浄明寺↓報国寺↓昼食↓華頂の宮邸↓杉本寺↓鶴岡八幡宮です。地元NPOガイドの黒川さんが案内役なのと市内定期バス利用で経費&体力を節約し、昼食を観光客には目立たない場所にある和食処

「こふく」で食べるようにしたので今回の工夫でした。

集合場所ガイドの黒川氏を紹介した後で早速定期バスで浄明寺をめざし鎌倉の東へ向かいました。紅葉には早時期だが晴天に誘われて行楽客でバスは満員、すし詰でした。「浄明寺」は鎌倉五山の一つで臨済



お食事タイム

利尊氏です。赤いもうせんに腰を下ろし、約二千本という孟宗竹を見ながら抹茶と甘味を頂き、しばし至福のひと時を過ごしました。竹の禅寺として外国人にも人気があるそうです。風穴のお墓(岩蔵・かぐら)や塔頭(たちゅう)の詳しい説明もガイドさん同行でよく分かりました。

昼食は目立たない場所でありながら、地元では知られた和食処「こふく」で、ゆつくりと食事を頂きました。湘南の海で獲れた海の幸が美味しかったと好評でした。

食事後「華頂の宮邸」へ。昭和初期、華頂侯爵邸として建てられたモダンな木造三階建て。現在は国の「登録有形文化財」に指定され、鎌倉三洋館の一つであり、鎌倉市が管理しています。

次は旗振りめく「杉本寺」へ。奈良時代(七三四年)に創建された鎌倉最古の寺。本尊の十一面観音は日光の入りないほの暗い所にあつて、なかなかお顔が鮮明に見てとれなかったのが残念でした。苔むした石段は踏まれてへこみ、歴史の重みを感じさせました。

バスで戻りながら最後の見学地、「鶴岡八幡宮」へ。鎌倉幕府が滅んだ後も武家政権を守る神として、秀吉が家康に造営を命じた事も興味深い話でした。大風で突然倒れた再生の銀杏は枝が心もとなかったが立派に育つよう祈



報国寺

宗建長寺の古刹の一つ。珍しい丸みを持った大屋根に特徴がある立派な構え。その上の丘で「十月桜」を愛でながら、間近に見える絹張山や当時重要であった、眼下の金沢街道などの黒川さんの説明に耳を傾けました。

次は竹林で有名な「報国寺」へ。この寺も臨済宗で、開基は足利氏。二代後が有名な足利幕府を樹立した足



華頂の宮邸で記念撮影

つてきました。見学後、ここで解散しました。初めての散策の会でしたが参加したみなさんの会話も弾みました。「普通の観光では回らない寺や見所を、ガイドの適切な案内で知識を得ながら巡ることが出来たのは良かった」「楽しかった次回を楽しみにしているよ」との声も聞かれ、意義ある「散策」となったようで、ホッとしています。また今秋に第二回「歴史散策」を計画しております。期日等、詳細は関東支部総会でお知らせして、その後ホームページに掲載する予定です。多数の会員のご参加をお待ちしております。(藤沢市在住)